



川崎市議会議員

本間 賢次郎 ケンジロウ

市政レポート No. 34 (令和2年8月号)

未来へ働き続ける、想いを「ツナ」ぐ。
イメージキャラクター：本マグロ ツナジロウ

事務所 〒210-0834 川崎市川崎区大島 3-14-17

TEL044-742-8072

FAX044-211-1081

ごあいさつ



川崎市でも新型コロナウイルスの感染者数が再び増加傾向となり、7月30日には一日に新たに確認された感染者数が21人に上り、緊急事態宣言期間中の4月11日の18人を上回って過去最多を更新しました。

また、今夏は梅雨が長引き、暑さに身体が慣れていません。8月に入り急激に気温が上昇することも予想され、熱中症への注意が必要です。特に今年はマスクの欠かせない夏となり、マスクを着用していると体内に熱が籠りやすく、また喉の渇きに気づきにくくなります。厚生労働省・環境省は、①屋外で、②人と人との距離が2メートル以上離れている時には、マスクを外して熱中症を防ぐよう注意喚起しています。また、喉が渇いていなくてもこまめな水分補給を行うよう心掛けてください。

令和2年第4回定例会・一般質問での要望が叶う！ 川崎市中学校総合体育大会で特別賞の表彰が実現！

先月号でお伝えした市内中学校の部活動の大会について、市は毎秋恒例の川崎市中学校総合体育大会の開催を決め、私が要望した市長賞などの特別賞についても今年限りで表彰すると発表致しました。特別賞の内容は、各競技の優勝チームに「市長賞」、そして大会に参加する全ての3年生に対し「参加賞」としてそれぞれ賞状を授与することです。

引き続き、感染予防策の充実を図り、無事に大会を開催できるよう取り組むとともに、運動部だけでなく文化部の発表の場の確保に向けて調整を続けて参ります。

体温計測できるサーマルカメラを市内施設へ！ 一般質問で市長へ強く要望！

令和2年第4回定例会の一般質問では、新型コロナウイルス感染症に関する質問を4項目【①市内施設等へのサーマルカメラ導入について②新型コロナウイルス感染症の影響による部活動等の大会等の中止について（先月号・今月号にて報告）③新型コロナウイルス感染症による国勢調査への影響と対策について④新しい生活様式におけるシティプロモーションについて】行いました。その中から今月号では、「サーマルカメラの導入について」お伝え致します。

緊急事態宣言解除後、学校や経済活動も再開し外出者が増えるとともに感染者数が増加傾向にあります。学校では登校前に自宅で体温を測り、発熱時は登校しないよう指導し、会社等でも同様に発熱時の出勤はしないよう徹底しているところもあります。また、商業施設、テーマパーク、病院等では、入口付近でスタッフが来場した人々の体温を計測するなど感染防止策が行っています。最近では額にかざして体温を測る非接触型体温計が利用されていますが、スタッフが対面し一定の距離まで近づくため決してソーシャルディスタンス（感染予防のための社会的距離）は十分ではありません。そこで、対面せずカメラを通じて通行者の体温を測定できるサーマルカメラの導入を提案致しました。学校、保育所、行政やスポーツ・文化施設等の公共施設、病院や福祉施設、商業施設等を所管する各局長に意向を尋ねると、多少の見解の違いはありましたが「あれば有効」という認識は一致。さらに、既にサーマルカメラを導入した多摩区の藤子・F・不二雄ミュージアムでの効果も答弁されました。また、国や本市の中小企業向けの補助金はサーマルカメラ導入にも活用可能です。サーマルカメラにはさまざまな性能・プランがあり値段も異なりますが、比較的高性能なものを導入しても予算は抑えられ、市内施設等に一斉に導入すれば有効性は高まります。川崎市では感染拡大させないという強いメッセージにもなるため、各局が各々検討するのではなく市長のリーダーシップで速やかに導入するよう要望致しました。

今後も感染予防策の充実に努めますが、皆様も引き続きのご理解とご協力をお願い致します。